

# 仁徳陵などを世界遺産に

## 百舌鳥・古市古墳群

大阪府と堺、藤井寺、羽曳野の3市

### 登録へ高まる期待

#### 住民参加で清掃活動も

百舌鳥・古市古墳群は、「応神天皇陵古墳」向4、それそれ東西4、南北4、25辺りがあり、両古墳群に広がる百舌鳥(堺市)、で計80基の古墳が現存して古市(藤井寺、羽曳野両市)の両古墳群からなる。百舌鳥には国内最大規模の「仁徳天皇陵(大仙)古墳」(仁徳陵)全長486m、古また、堺市を中心に有識者市には国内2位の規模の、会議を立ち上げ、世界文化

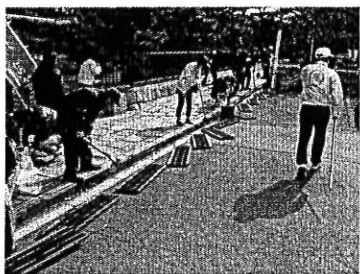
仁徳陵を訪ねると、地元ボランティアが来訪者を古活動も続けている。06年

3月からは年2回、地のは「毎回3000〜5000人が参加している。地元の人参加している。地元の高校生も積極的に手伝っての境周辺の清掃活動を行

魅力を視覚的に伝えようと、百舌鳥古墳群を紹介するシアターが14年3月にオープン。展示を通して、古墳が造られた当時、墳丘の斜面に石が敷き詰められていたことや、平坦な土には、粘土を焼いて作られた埴輪が規則正しく並べられたことが分かる。



仁徳天皇陵古墳(堺市提供)



「百舌鳥をまもり隊」の清掃員(堺市提供)。活動内容を語る同隊事務局長の草野(左)



副読本や模型を学校教材に  
まが玉づくり体験ツアー実施

一方、羽曳野市は、市民団体に「仁徳天皇陵古墳の外壁の一部に、ひもひもの花約700本の植栽活動」などをサポート。また、まが玉づくり体験を子ども親子バスツアーを毎年1回行っている「写真の1回市提供」。

## ユネスコが調査し、21カ国参加の委員会が最終決定

世界文化遺産は、貴重な文化財や自然遺産を人類共通の財産として保護することを目的とする「世界遺産条約」に基づくもの。14年6月現在、日本を含め191カ国が同条約を批准している。

土山、瀬川製鉄場など14件、自然遺産が知床、屋久島など4件だ。

登録される分野は、文化的・歴史的価値がある建築物などの「文化遺産」、独特の地形や景観などの価値が認められる「自然遺産」、両方の価値が認められる「複合遺産」の3つ。登録総数は1007件。日本では、文化遺産が原爆ドーム、富

を中心とする佐渡鉱山の遺産群(新潟県)、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」(福岡県)の4件。今後、同年内の審議会で内容を協議し、7月頃に国内推薦1件を決定、開議了解を経て、ユネスコに推薦書が提出される。

公明党は、地方議会の議員が予算要望などを通じて「百舌鳥・古市古墳群の『写真』」同副代表は、同世界文化遺産登録推進協議会の推進員として、世界文化遺産登録に向けて「1つかり」と後押ししていきたい」と語る。



世界文化遺産は、貴重な文化財や自然遺産を人類共通の財産として保護することを目的とする「世界遺産条約」に基づくもの。14年6月現在、日本を含め191カ国が同条約を批准している。

世界文化遺産の登録には、各国内に推薦書を出す。今年3月、文化庁は推薦書の案を提出した。百舌鳥・古市古墳群のほか、北海道・北東北の縄文遺跡群、北海道と青森、秋田、岩手の「金

推進議員連盟が発足



推進議員連盟が発足